

令和5年度第1回宮城県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構  
運営協議会開催概要

- 1 開催日時 令和5年8月1日（火）10時00分～11時45分
- 2 開催場所 宮城職業能力開発促進センター 本館3F 多目的ホール

3 議題

I 宮城支部・宮城職業能力開発促進センターにおける  
職業能力開発業務の令和4年度事業実績と令和5年度進捗状況等

- 1 早期再就職への支援
  - (1) ハロートレーニング（離職者訓練）
  - (2) ハロートレーニング（求職者支援訓練）
- 2 生産性向上等に取り組む事業主等への支援
  - (1) ハロートレーニング（在職者訓練）  
指導員派遣、施設設備貸与
  - (2) 生産性向上支援訓練
- 3 地域連携・地域貢献等

II 東北職業能力開発大学校における

職業能力開発業務の令和4年度事業実績と令和5年度進捗状況等

- 1 高度実践技術者・将来の生産現場リーダーの育成
- 2 生産性向上等に取り組む事業主等への支援
  - (1) ハロートレーニング（在職者訓練）  
指導員派遣、施設設備貸与
- 3 地域連携・地域貢献等

III その他

- ・宮城支部における高齢者・障害者雇用支援業務状況
- ・宮城障害者職業センターにおける業務案内

4 議事経過

資料に沿って事務局から説明が行われた後、質疑応答及び意見交換が行われた。  
主な意見は以下のとおり。

(早期の就職支援について)

- ・労働局として、ポリテクセンターの魅力は高い就職率にあると考えるので、積極的な誘導や協力体制を整えていきたい。
- ・県としては、ハローワークに新卒は県の高等技術専門校に誘導いただき、就職後のミスマッチによる転職者は、ポリテクセンターに誘導いただくようお願いしたい。

(在職者訓練について)

- ・在職者訓練、生産性向上支援訓練は高い評価を受けており、ハロートレーニングが重要であると認識している。ただし、人材不足の現状からすると、企業が土日開催のコースを受講

させるのはやむを得ないと思うが、平日に、業務の中で職業訓練を受けていただくのが理想だと思っている。利用する企業に対し、休日出勤手当の支給を促す等配慮いただきたい。

(地域連携・地域貢献について)

・生産性向上支援訓練で情報セキュリティや情報漏洩などの倫理・セキュリティコースについて、「多賀城市、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構支部及び厚生労働省宮城労働局との協定書」を踏まえ、地域連携・地域貢献の一環として、地域企業が更に受講できるよう工夫いただきたい。

(高度実践技術者・将来の現場リーダーの育成について)

・昨今、子供が減ってきていることや、コロナ禍により子供に近くにいると望む親も多いことから、宮城県を中心とした東北6県での就職を支援いただきたい。

以上

令和5年度宮城県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構  
運営協議会委員名簿

(敬称略・順不同)

区 分	氏 名	所 属 及 び 職 名
学識経験者 (2名)	阿部 未央 (会長)	東北学院大学法学部教授
	加賀 英紀	株式会社河北新報社 経営企画局人事部長
労働者代表 (2名)	佐竹 一則	日本労働組合総連合会宮城県連合会事務局長
	大倉 克志	宮城県退職者連合事務局長
中小企業等代表 (4名)	稲妻 敏行	宮城県商工会連合会専務理事
	半沢 章	宮城県中小企業団体中央会専務理事
	西村 博英	一般社団法人宮城県建設業協会専務理事兼事務局長
	今野 薫	仙台商工会議所専務理事
行政機関 (4名)	山口 泰久	厚生労働省宮城労働局職業安定部長
	小嶋 淳一	宮城県経済商工観光部副部長
	深谷 晃祐	多賀城市長
	阿部 貴夫	宮城県立仙台高等技術専門校長